

# 自分らしく輝くために



中央図書館ブックフェア  
令和3年1月5日～1月31日

堺市は1995年1月21日に市民による市民の行動目標として「女と男が生きるのやSAKAI宣言」を採択し、全国初の男女共同参画宣言都市となりました。

すべての人が性別や役割にとらわれず自分らしく輝くためには、法や制度の整備はもちろんのこと、一人ひとりの意識も大切です。

誰もが個性と能力を発揮し活躍できる社会を目指せるよう、ジェンダーの問題について考えてみませんか。



## ◆ジェンダーとは

ジェンダーの本はNDC分類367.1の棚にあります。

ジェンダーとは、社会的・文化的に作られた性別（男らしさ・女らしさ）を指します。（新村 出編『広辞苑』第7版より）

ジェンダー不平等の問題は、昔から現在まで根強く存在しています。

日本・世界の現状を知ることができる本を紹介します。

書名	著者名	出版者	出版年
ジェンダーとわたし	笹川 あゆみ／編著	北樹出版	2017.5
ジェンダー学への道案内 4訂版	高橋 準／著	北樹出版	2014.5
地図とデータで見る女性の世界ハンドブック	イザベル・アタネ／編	原書房	2018.8
ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた	佐藤 文香／監修	明石書店	2019.6
ジェンダーで学ぶ社会学 全訂新版	伊藤 公雄／編	世界思想社	2015.10
日本のジェンダーを考える	川口 章／著	有斐閣	2013.9
炎上CMでよみとくジェンダー論	瀬地山 角／著	光文社	2020.5
男女平等はどこまで進んだか	山下 泰子／監修	岩波書店	2018.6
足をどかしてくれませんか。	林 香里／編	亜紀書房	2019.12
科学の女性差別とたたかう	アンジェラ・サイニー／著	作品社	2019.5
未来をひらく男女共同参画	西岡 正子／編著	ミネルヴァ書房	2016.4
男たち/女たちの恋愛	田中 亜以子／著	勁草書房	2019.3
知る・わかる・伝えるSDGs 1	日本環境教育学会／監修	学文社	2019.10

## ◆LGBTについて

LGBTについての本は367.9の棚にあります。

セクシュアリティ（性のあり方）は、＜自認する性＞＜からだの性＞＜好きになる性＞＜表現する性＞の4つの要素で説明することができます。（薬師 実芳 ほか著『LGBTってなんだろう？』改訂新版より）

この4要素は人によって様々で、他人が見た目や言動から推測できるものではありません。

まずは多様な性のあり方を知ることから始めてみませんか。

書名	著者名	出版者	出版年
はじめて学ぶLGBT	石田 仁／著	ナツメ社	2019.2
LGBTってなんだろう？ 改訂新版	薬師 実芳／著	合同出版	2019.5
13歳から知っておきたいLGBT+	アシュリー・マーデル／著	ダイヤモンド社	2017.11
性別に違和感がある子どもたち	康 純／編著	合同出版	2017.6
総務部長はトランスジェンダー	岡部 鈴／著	文藝春秋	2018.6
オレは絶対にワタシじゃない	遠藤 まめた／著	はるか書房	2018.7
同性婚のリアル	東 小雪／著	ポプラ社	2016.2
LGBTとハラスメント	神谷 悠一／著	集英社	2020.7
ルポ同性カップルの子どもたち	杉山 麻里子／著	岩波書店	2016.2
LGBTヒストリーブック	ジェローム・ポーレン／著	サウザンブックス社	2019.12
ゲイカップルに萌えたら迷惑ですか？	牧村 朝子／[著]	イースト・プレス	2016.11
トランスジェンダーの私がボクサーになるまで	トーマス・ページ・マクビー／著	毎日新聞出版	2019.8
LGBTと家族のコトバ	LGBTER／著	双葉社	2018.12
現地レポート世界LGBT事情	フレデリック・マルテル／[著]	岩波書店	2016.11

## ◆家庭のジェンダー問題

家庭の問題については367.3～367.6の棚です。

家事は母親の仕事？父親は外でバリバリ働くのが当たり前？

性別で家庭内の役割を決めるのではなく、それぞれがしたいこと、理想の生き方を実現するためにはどうすればよいのでしょうか。考え方のヒントになる本を集めました。

仕事と家庭は両立できない？	アン＝マリー・スローター／著	NTT出版	2017.8
ワンオペ育児	藤田 結子／著	毎日新聞出版	2017.6
「支配しない男」になる	沼崎 一郎／著	ぶねうま舎	2019.5
皿洗いするの、どっち？	山内 マリコ／著	マガジンハウス	2017.2
介護する息子たち	平山 亮／著	勁草書房	2017.2
「子どもの貧困」を問いなおす	松本 伊智朗／編	法律文化社	2017.10
「専業主夫」になりたい男たち	白河 桃子／著	ポプラ社	2016.1
<性>なる家族	信田 さよ子／著	春秋社	2019.5
僕たちは育児のモヤモヤをもっと語っていいと思う	常見 陽平／著	自由国民社	2019.8
シングルマザーの貧困	水無田 气流／著	光文社	2014.11
ルポ父親たちの葛藤	おおた としまさ／著	PHP研究所	2016.7
教育/家族をジェンダーで語れば	木村 涼子／著	白澤社	2005.8

## ◆平等に働くために

労働問題の本は366.38の棚にあります。

誰もが就きたい職業を目指したり、性別ではなく能力で活躍できるようにするには、なにから始めればよいのでしょうか？

現状の問題と、その問題に立ち向かう人の話を読んでみてください。

書名	著者名	出版者	出版年
男性問題から見る現代日本社会	池谷 壽夫 他／編	はるか書房	2016.9
働く女性ほんとの格差	石塚 由紀夫／著	日本経済新聞出版社	2018.8
なぜ働き続けられない？	鹿嶋 敬／著	岩波書店	2019.1
「女性活躍」に翻弄される人びと	奥田 祥子／著	光文社	2018.3
後悔しない「産む」×「働く」	齊藤 英和／著	ポプラ社	2017.8
なぜ女性管理職は少ないのか	大沢 真知子／編著	青弓社	2019.3
男コピーライター、育休をとる。	魚返 洋平／著	大和書房	2019.2
炎上しない企業情報発信	治部 れんげ／著	日本経済新聞出版社	2018.10
職務格差	大槻 奈巳／著	勁草書房	2015.10
LGBTIの雇用と労働	三成 美保／編著	晃洋書房	2019.7
カミングアウト	ジョン・ブラウン／著	英治出版	2018.9
賃金差別を許さない！	リリー・レッドベター／[著]	岩波書店	2014.1
お先に失礼します！	中村 一／著	KADOKAWA	2017.9

## ◆「自分らしさ」を尊重する

自分と他人は違って当たり前。1人1人にそれぞれの生き方、考え方があります。それぞれの「自分らしさ」、多様性を尊重できる社会へと変化していきたいですね。

これからの男の子たちへ	太田 啓子／著	大月書店	2020.8
女らしくなく、男らしくなく、自分らしく生きる	露の 団姫／著	春秋社	2019.9
マンガワークシートで学ぶ多様な性と生	渡辺 大輔／著	子どもの未来社	2019.5
さよなら！ハラスメント	小島 慶子／編著	晶文社	2019.2
ぼそぼそ声のフェミニズム	栗田 隆子／著	作品社	2019.6
みんなの「わがまま」入門	富永 京子／著	左右社	2019.4
男らしさの終焉	グレイソン・ペリー／著	フィルムアート社	2019.12
女も男も生きやすい国、スウェーデン	三瓶 恵子／著	岩波書店	2017.1
「差別はいけない」とみんないうけれど。	綿野 恵太／著	平凡社	2019.7
自分をさがそ。	杉山 貴士／著	新日本出版社	2008.6
ブスの自信の持ち方	山崎 ナオコーラ／著	誠文堂新光社	2019.7
結婚の奴	能町 みね子／著	平凡社	2019.12
「違うこと」をしないこと	吉本 ばなな／著	KADOKAWA	2018.10
82年生まれ、キム・ジョン	チョ ナムジュ／著	筑摩書房	2018.12



## ◆インターネットの情報

### ①堺市 男女共同参画について

<https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/jinken/danjokyodosankaku/index.html>



さかい男女共同参画週間

<https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/jinken/danjokyodosankaku/jigyoannai/kyodousankaku/index.html>



### ②堺市 性的マイノリティに対する理解促進に向けた取組

<https://www.city.sakai.lg.jp/smph/shisei/jinken/jinken/seitekimainoriti.html>



### ③大阪府 男女参画・府民協働課

<http://www.pref.osaka.lg.jp/danjo/>

### ④内閣府男女共同参画局 「男女共同参画社会」って何だろう？

[https://www.gender.go.jp/about\\_danjo/society/index.html](https://www.gender.go.jp/about_danjo/society/index.html)

### ⑤外務省 SDGs

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/effort/index.html>

持続可能な開発目標（SDGs）のひとつにジェンダーが挙げられています。

